

2022年度 第2回 帝京大学医学部附属病院 監査委員会要旨

1. 日時：2023年3月16日（木）14時00分～15時40分
2. 場所：帝京大学医学部附属病院6階 大会議室
3. 委員：寺尾壽夫(委員長)、秦奈峰子(外部委員)、橋本恵正(外部委員)、川村雅文(学内委員)
病院側：坂本哲也(病院長)、山本貴嗣(総務担当副院長、診療録管理責任者)、
河内正治(安全管理部長、安全管理担当医師)、
上妻謙(安全管理担当副院長補佐、医療機器安全管理責任者、
インフォームドコンセント管理責任者)、
安野伸浩(薬剤部長、医薬品安全管理責任者)、土谷明子(看護部長)、
吉原久直(保険指導部長)、大滝恭弘(医療共通教育研究センター)、
安田篤史(麻酔科)、和久正志(事務長・書記)、
稲垣宏治(事務次長兼総務課長、内部通報窓口担当者)、
矢口成美(総務課長補佐、内部通報窓口担当者)、根岸希三子(安全管理部)

4. 委員が確認した内容

- (1) 病院機能評価 最終審査結果について
- (2) 令和4年度医療法第25条の規定に基づく立入検査の結果について
- (3) ヒヤリハット・アクシデント報告件数の推移
- (4) 死亡・死産の報告件数について
- (5) 令和4年度日本私立医科大学協会・医療安全相互ラウンドの実施結果について
- (6) 高難度新規医療技術評価委員会の活動実績
- (7) 未承認新規医薬品等評価委員会の活動実績
- (8) 適応外医薬品等評価委員会の活動実績
- (9) 医療安全に関する職員研修の実績
- (10) 医療機器の保守点検の実績
- (11) 医療機器安全使用研修の実績
- (12) 医療機器のヒヤリハット・アクシデント報告について
- (13) インフォームドコンセント取得に関する取り組みについて
- (14) 症例カンファレンス記録について
- (15) 院内医薬品の使用状況
- (16) 未承認・適応外・禁忌薬剤使用の実績
- (17) 医薬品の供給困難に対する対応について
- (18) 複数の医療機関から処方されている薬剤のチェック方法について
- (19) 内部通報窓口について
- (20) 診療録管理の業務実績

- (21) 診療録質的点検・量的点検の結果について
- (22) 診療録記載改善の取り組みについて
- (23) 診療録記載基準の改訂について
- (24) 院内略語集の改訂について
- (25) 他診療科・他医療職による診療録質的点検体制の構築について
- (26) 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて
- (27) 医師の働き方改革への取り組みについて
- (28) 2023年度の組織体制について

5. 監査結果

- (1) ヒヤリハット・アクシデント報告が増加していることを確認した。特に医師の報告件数が増えており、今後も継続して報告体制を維持していただきたい。
- (2) インフォームドコンセントを含め診療録記載が改善していることを確認した。
- (3) 高難度新規医療技術の導入について、高難度新規医療技術評価委員会での適正な審査のもと実施されていることを確認した。
- (4) 未承認新規医薬品等の使用について、未承認新規医薬品等評価委員会での適正な審査のもと細心の注意を払い使用していることを確認した。

6. 講評

病院長および各安全管理責任者からの説明を受け、特定機能病院としての機能が十分発揮できる体制が充実していることを確認した。今後もこの体制を維持するとともに、更なる向上に努め、患者にとって安心・安全な最良の医療を行っていただきたい。